

2020

2

O's News

脳卒中からの復活を目指して 病気に負けない心と医療の提供

医療技術部 部長 吉野 孝広

自分で歩き、どこにでも行ける。健康が普通であり、当たり前のことであった。

しかし今は健康であることがどれだけ幸せな事であったかを痛感している。寝返りさえ思うように出来ず、動かない手足にいら立ち、家族の涙に悔しさと不安と悲しみが入り混じる。

「今が一番苦しいとき」。私たち医療従事者は、この様な患者さんの想いや家族の涙の意味を理解しているでしょうか。いや理解できないとしても少しでも判ろうとしているでしょうか。

「病は気から」という言葉があります。一見科学的ではないようにも思えます。私も以前この言葉があまり好きではありませんでした。科学的でなく気持ちで病気が治るわけがないと思っていたからです。しかし鬱状態と交感神経の不活性化、そして免疫力の低下には密接な関係があることが実証されていますし、笑顔やスキンシップによって分泌されるセロトニンが脳の回復に役立つことも解明されてきています。

大阪大学の研究グループは交感神経が分泌する神経伝達物質ノルアドレナリンがリンパ球に働きかける仕組みを分子レベルで解明し、ストレスや気分といった精神的な作用が実際に免疫反応に影響することを実験で証明しました。とは

言うものの「病は気からですよ、頑張りましょう」と安易に口にするのは患者さんに失礼です。私はこう思います、「病は気から」それは医療従事者である我々が病気だから仕方ないと諦めない、「負けない医療」の提供を目指すことから始まると思います。「今が一番苦しいとき」は発症して自分の状況がわかり始めたときです。患者さんに「今が一番苦しい時ですがここからが復活ですよ」「病は気からですよ」と説得力のある言葉をかけることが出来るには患者さんやご家族の想いに寄り添う姿勢と深い知識、そしてなにより多くの臨床経験が必要です。そのために私たちは日々研鑽し技術と知識の向上に努めなくてはならないのだと思います。



新入職医師の紹介

2020年1月に入職しました、神経内科医の
小坂田陽介と申します。よろしくお願いします。

- ◇趣味・特技:スポーツ
- ◇好きな食べ物:そば、寿司、たこ焼き
- ◇患者さんにとって最も良い選択をすることを
医師として心掛けています。



言葉に心を添えて

接遇・CS委員会 委員長 上原 かおる

接遇・CS(customer satisfaction:顧客満足)委員会は、来院される全ての方に満足して頂ける病院を目指して活動しています。今年度は、“接遇基本「10の言葉」”を各部署での対応をイメージしながらの唱和を推進しています。“接遇基本「10の言葉」”とは、「おはようございます」「ありがとうございます」「かしこまりました」「少々お待ちくださいませ」「大変お待たせいたしました」「恐れ入ります」「お手数をおかけいたします」「失礼いたしました」「申し訳ございません」「お大事になさいます」で、日々の対応で自然に使えるようになることを目的としています。実際の対応で、言葉遣いだけでなく、声色・表情・態度も添えて、職員は思いを伝えることができますでしょうか。職員の思いを感じて頂いていますでしょうか。来院される全ての方に、言葉に心を添えた対応ができるよう活動を継続して参ります。





日本の四季暦

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

きさらぎ 如月 梅の香りの漂う早春の風景。木々の枝の芽も少しずつ膨らみ、春の足音が感じられます。今年^{うらうとし}は閏年にあたり2月29日が四年に一度設けられています。地球は太陽を365.24日で一周します。☀

二十四節気

大寒 たいかん

1/30~2/3(第七十二候) 鶏始乳 / にわとりはじめてとやにつく

一年を巡る七十二候の最終章。鶏が春を感じて卵を産む「鳥屋」にこもります。2/3は「節分」、冬の枝に鰯の頭を刺して鬼を追い払いますね。魔除けとして庭木にも植えられる柗。ギザギザの葉は触れるとひりひり痛い→「疼ぐ」^{ひいら}がその語源に。



一節気

立春 りっしゅん

2/4~8(第一候) 東風解冻 / はるかぜこおりをとく

まだまだ寒さは続きますが、春の小さな足音、東風が吹き始めます。2/6は初午祭。農業を司さざる「稻荷神社」、大事な田んぼを荒らすねずみ^{ねずみ}を捕まえてくれるきつねは神の使いとされました。おいなりさん♪美味しいですね。



2/9~13(第二候) 黄鶯睨院 / うぐいすなく

「春告鳥」と呼ばれるうぐいす「ホーホケキョ♪」縄張りを示すオスの鳴く声です。ヨーロッパで宗教との関わりが深く、神話や伝説が多い早春の花「スノードロップ」。雪の降る2月に春にさきがけうつつむいた清純な花を咲かせます。日本名は「待雪草」花言葉「希望」。

2/14~18(第三候) 魚上氷 / うおこおりをいずる

水の底でじっとしていた魚が、川や湖でぬるんだ水で氷を割り、跳ねる様子をあらわします。生命力にあふれ目に浮かぶ光景ですね。日暮れも遅くなり、光はきらきらと輝き始めるこの頃を「光の春」と呼ぶそうです。そういえば♪障子の白さが際立ち、窓から差し込む光はまぶしく感じられます。

二節気

雨水 うすい

2/19~23(第四候) 土脉潤起 / つちのしょううるおいおこる

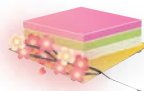
早春のほんのり暖かい雨で、固い地面がゆっくりとゆるみ、目覚めてゆきます。この時期の雨は養花雨(ようかう)、慈雨(じう)、甘雨(かんう)と呼ばれ、花や木々たちに優しく降りそそぎます。柑橘類のおいしい季節♪ビタミンCをたっぷりとって私達も元気に春を待ちましょう。

2/24~28(第五候) 霞始靄 / かすみはじめてたなびく

冬の間はくっきりと見えていた山が、春独特のふんわりとした霞につつまれます。どこからともなく沈丁花の香り、つくしやたんぽぽも顔を出します。ぼんやりとかすんだ「朧月」「菜の花畠に、入日薄れ〜♪」日本唱歌として歌い継がれてきた名曲です。



雛祭りの近づくこの頃、やさしいその姿は、現代でも様々な楽しみ方が広がっています。



今月の花

ラナンキュラス

キンポウゲ科 球根植物

和名「花金鳳花」

原産地:ヨーロッパ、西アジア

花言葉:「とても魅力的」

「華やかな魅力」



早春~春に、切り花や鉢花として最近人気の球根植物です。その花姿は薄紙のような繊細な花びらが幾重にも重なりその花言葉のようにゴージャスで魅力的です。ラナンキュラスとはラテン語の「rana(カエル)」から由来。葉っぱがカエルの足に似ているから、湿地帯に生息するからとも言われています。赤、ピンク、オレンジ、白、緑など花色もとても豊富、春が進むにつれて次々とつぼみが立ち上がり、一つの花の持ちも長く、長い期間たっぷり豊かな花を楽しめます。

外来
担当
医
表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	前岡	角田	福留	松岡
	午後	高橋〈血〉	前岡	角田	福留〈FUS〉	松岡
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	片山
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	神経内科 立花	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	内科 電門(カマド) 第4週 てんかん 田村	神経内科 小坂田
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 神経内科 山下 第4週 てんかん 田村	脊椎・脊髄外来 山本

※診察受付時間：月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

(2020.2)

連携協力医療機関のご紹介(No.192)

もりのぶクリニック



院長：森信 早穂子

【認定資格】日本内科学会 総合内科専門医・日本リウマチ学会 専門医

【診療科目】内科・リウマチ科

【住 所】神戸市西区大沢1丁目14-47

【電 話】078-969-1910

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木曜日と土曜日の午後、日曜日・祝日



森信院長からのメッセージ

様々なご病気の方の入院外来診療経験を活かし、患者様やご家族を笑顔にできるような日々の診療を行います。

連携協力医療機関のご紹介(No.193)

三宅内科医院

院長：三宅 仁

【認定資格】日本内科学会認定総合内科専門医・日本循環器学会認定循環器専門医・日本超音波医学会認定超音波専門医・日本医師会認定産業医・ACLS Provider

【診療科目】内科・循環器内科・呼吸器内科

【住 所】神戸市西区櫛谷町長谷214-2

【電 話】078-945-6792

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00～18:30	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木曜日と土曜日の午後、日曜日・祝日

※木曜日・土曜日の診察受付は12時までとなっております

※午後3時半から4時は負荷心電図検査・心エコー検査等の予約検査時間となっております。

